

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	ワークプレイス小委員会	主 査 名：地主廣明 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：筧 淳夫
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>人々の働き方や働く場所が多様化する社会状況に対応して、オフィスビルにとどまらず様々な業態の働く場としての「ワークプレイス」のあり方を提案することを目的とする。</p> <p>2012 年度の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出版物執筆に関する今後の方針と展望 ・ 出版物執筆に関わる先進オフィス視察 <p>2013 年度の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール」 <p>2014 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール」 <p>2015 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール」 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <p>鯉坂徹 (鹿児島大学), 掛井秀一 (徳島大学), 木村啓子 (富士フィルムホールディングス), 白石光昭 (千葉工業大学), 地主廣明 (東京造形大学), 恒川和久 (名古屋大学), 仲隆介 (京都工芸繊維大学), 納村信之 (名古屋商科大学), 花田愛 (岡村製作所), 古阪幸代 (FM 女性ネットワーク), 榎山明久 (NTT ファシリティーズ), 柳父行二 (現在: 計 12 名)</p>	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2015 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス:

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 2015 年 10 月 13 日 名称: ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール第 5 回「ワークプレイスのプログラミング」 参加者数 44 名</p> <p>2. 2015 年 12 月 21 日 名称: ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール第 5 回「ワークプレイスのデザイン」 参加者数 29 名</p> <p>3. 2016 年 2 月 18 日 名称: ワークプレイス・デザイン連続ゼミナール第 7 回「新たなワークプレイス空間」 参加者数 13 名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2012 年度に決定された「ワークプレイス連続ゼミナール」の実施を本年度も継続して実現させ、本年度から第 2 クールをスタートさせ、今期 3 回のゼミナールを実現させた。 2. 前年度同様、本ゼミナールを通して様々な研究者との交流を通して、ワークプレイスに関する知見が深まったものとする。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 クール、第 2 クール合計で 8 回を年度内に目指したが実際は 7 回まで到達出来なかった。次年度に第 8 回を実現し、その後、8 回分の知見を統合させた小冊子等の製作に取り込みたい。 2. 例年の問題だが、各委員居住地にばらつきがあり、コミュニケーション不足となっているため、委員会の開催方法等改善していきたい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。